

# 8月号 ぶどう・りんごぐみだより

担任 東ゆかり 岩永千景

8月は、命の日の集いがあり、皆で命の大切さについて考えていきたいと思います。そして、プールも思い切り楽しみながら、それぞれの目標にも挑戦していき、自信と意欲につなげていけたらと思います。

## 今月の歌

うみ・ようこそうみへ・どろんことたいよう・みんなでいこう・夏の樹・友達なんだもん・夏の風の歌・海の底には・みんなでいこう

## 今月の絵本

・かわいそうなぞう・がんばれくるまのびよんた・さっちゃんのまほうのて・はたけのうた

## ○生活 ◆食育 ～夏野菜について～



7月は、夏野菜についてのお話でした。「夏野菜には、身体を冷やす力がある」という事を聞いて、自分たちが育てているきゅうりやトマトには、暑い夏を乗り切るためのすごい力があることを知り、「そんな力があるの!!」「きゅうり好きだからいっぱい食べよう」「トマトもおいしいね、保育園の畑もいっぱいトマトがなってるもんね」と話しも弾みつつ、夏野菜サンドイッチを子どもたちの目の前で作りました!「サンドイッチおいしい」と大好評でした!

## ○自然・労働 ～夏野菜収穫～

葉がおい茂り、日増しに大きくなった夏野菜。中でもたくさん実っているのが、ミニトマト、なす、ピーマン、おくらです。畑へ向かう足取りは軽く「今日は大きくなっているかな～」とワクワク胸を躍らせている子どもたちです。



ミニトマトは「これは赤くなっているから取っていいの?」「これはオレンジ色だからまだかな～」「あー先生、緑のトマトがとれちゃった!」「あーいいにおい!」などなど畑で色の違いを感じたり、どの位色ずいたら食べごろかという事が分かるようになってきました。赤い実を見つけるたびに「あー今食べたい!」とつぶやく場面も…食べることも一つの楽しみです。なので、「よーし、食べてみよう」というと大喜びで口に運んでいます。「太陽の味がする」「甘ーい」「おいしー」と大満足の子もたち

です。

ピーマン、なす、おくらはハサミを使って収穫をします。道具を使って収穫する事が、何だか大きくなった気分になるのか、嬉しくてたまらない様子です。「うわっ おくらがこんなに大きくなってる!」「おくらの花きれい」「ピーマンもいっぱいになってる」「なすがいっぱいだー」「これは小さいからまだ?」「これは大きいからいいよね」「これは中くらいだから今度とろう」など大きさを比較しながら選び取っています。



びっくりしたのが、子どもピーマンという品種。試しに子どもたちと一口食べてみると、びっくりするぐらい苦味がなく、「あれー甘い」「これ何かの味に似てる…」「おいしー」「全然苦くない」「僕ピーマン好きになった」とパクパク食べていた子どもたちです。ピーマンの概念が覆った驚きの出来事でした!

もうひとつ、不思議な事がありました。それはなすです。7月上旬ごろからなぜか丸いなすが実り始めたのです。「何で!何で丸!」「あれこれなすだよね…」「全然形が違う!」「何でー」と子どもたちも私たちも不思議で仕方がないのですが、1つの苗から2種類のなすが食べられるなんて…思いがけない神様からのサプライズプレゼントでした。なぜ、同じ苗から違う種類のなすが出来たのか、この謎は子どもたちと一緒に考えていきたいと思っています。

本当に畑は学びの宝庫です。五感をフルに使って、どの位したら収穫できるのか、自分で考え、友だちと話し合い、伝えあう事もできます。何よりも自分たちで収穫した野菜をその日に給食の先生たちが、腕によりをかけて調理をして頂けるのもあさひ保育園ならではの取り組み。苦手な野菜もパクパク食べられるのは、自分たちで育てた野菜を、調理して食べられるからだ実感しています。

## ～スイカを収穫したよ～

子どもたちがずーっと心待ちにしていたのが、スイカの収穫です。スイカが大きくなるために、草を取ったり、カラスに食べられていないか様子を見に行ったり根気のいる作業をしてきました。本当によく頑張ってくれました。



スイカは小さな実がなって、35日～40日待ち、やっと収穫を迎えるので、「スイカ大きくなったかな」「早く食べたいな」と楽しみにしていた分、スイカの収穫を迎え、「やったー」「スイカ大きくなってる」「もう食べられるの?」「すいかからすいか…(しりとりが出来ると気づいたようです)からすに食べられなくてよかった～」と大喜びでした!

早速スイカはタライに氷を入れて、冷やしおやつの時に自分たちで切って食べました。スイカを割る時は思わず「おー」という歓声が湧き「ちょっとピンク」「だけどスイカのにおいがしてきた」とワクワクしている子どもたち。包丁で切る時は「皮が硬い」「スイカのにおい、いいにおい」「おいしそ～」と期待でいっぱいでした。



皆が切り終え、待ちにまった試食会。一口食べると一斉に「甘ーい」「おいしい」「すごい甘い」とお代りが進みましたよ。だけど自分たちだけで味わうのではなく、ちゃんと弟妹たちにも分けて味わって食べました!水みずしていてとってもおいしいスイカでした!お世話をした分、子どもたちの喜びも倍になったのではないかと思います。まだまだスイカはあと3玉実っています。一つは小玉スイカ、もう一つは黒皮大玉すいか、まったく違う種類なので、「こっちのスイカなんか色が違う」「緑が濃い」「こっちにはしま模様がない」「大きくなるのかな」とまた期待を寄せています。お世話をしながら、どんな風に大きくなっていくのか子どもたちと一緒に見守っていきたいと思います。

## ○全身運動 ～プール遊び～

「今日もプール」と期待いっぱい登園する子が増えてきました。連絡帳などにも「お風呂でワニさんパットの練習をしています」「いつまでたってお風呂から上がってこないな…と思ったら、顔付けの練習をしていました」と記入してあったり、「私お風呂で練習してきたよ」「お風呂でお顔付けできたよ」と子どもたちも報告してくれます。目標に向けて、日々努力している姿を思い浮かべると、本当に素晴らしい子どもたちだなと感じています。子どもたちのひたむきな姿に私も応えてあげたいと感じています。りんご組さんも「1,2,3パツ」の練習もだいぶ上手になってきて、どんどん潜るぶどう組さんに憧れを寄せ、ちょっと苦手だけれど挑戦してみよう!という姿が増えてきました。ちょっと深い

プールで宝探しをするのも、顔をつけおはじきやビー玉を拾えるようになってきました。プールが苦手な子にとっては、顔をつけたり、潜ることはとても勇気がいります。だけどそれを克服しようとする姿を見たとき、感動して胸がいっぱいになります。そのプロセスが大切だと感じています。だから最終目標を迎えるまで、一つひとつ出来た喜びの貯金が増えてくれたらと思っています。

ぶどうさんは、フープの間をくぐることもできるようになりました。プールのふちにつかまって、身体を伸ばしてバタ足をしたり、洗濯あそびをした後浮く感覚を体験したりしながら楽しく目標に向かって頑張っています。最近では、水に潜ることが楽しくて仕方ないようで、潜って回転する「ドリル泳ぎ」「人魚泳ぎ」を発案したり、ラッコみたいに浮いたりする子が増えてきました。



ぶどう組の子どもたちは、思いっきり全身を使って、心身を解放し、楽しく遊ぶ事を通して、自分たちで遊びを考え、作りだせる力をつけています。



8月はいよいよ最終目標に向けて取り組みます。りんご組さんは、ワニさんパツと力を抜いて浮くことを目標に。

ぶどう組さんは、力を抜いて浮く、ダイナミックに泳ぐ事を目標に取り組んでいきます。

プールの取り組みを通しては、新たな目標に向けて意欲が高まるよう、1つひとつの目標に到達したら、皆で喜び合い、苦手な事を克服した喜びや自信、友だちの喜びが自分の喜びとなるような仲間関係、出来ない事が出来るようにと、教え合えるような仲間関係を育ててあげたいです。

### ～馬跳び～ 全身で経験する気持ちいい関係



ぶどうさんは、跳び箱、竹馬、登り棒、鉄棒、うんてい、りんごさんは跳び箱、木馬、鉄棒と各年齢で運動遊具をつかった運動に取り組んでいます。

りんごさんは壁によりかかって、自分で木馬に乗る練習、そして保育士に支えられて歩く練

習をしています。初めは、木馬にのって手と足を動かすことも難しかったのですが、段々と自分で手足を動かす事が出来る様になり、保育士が少し支えるだけでバランスが取れ始めてきました。今では子ども同士で「前にたおれてごらん」「あし前にやって」「そうそう」と教えあったり励ましあったりしている姿が見られるようになりました。

ぶどう組さんは、跳び箱でもりんご組さんの方へ行き、手をつないで跳び箱へ走って行く姿が見られました。踏み板で跳ぶタイミングを教えていたのです。その姿に思わず胸がじーんとなったのですが、それを嬉しそうに手をつないで走りりんご組さんの表情の愛らしく、心もほっこりなりました。他にも「ここに手をついてみて」「もっと前だよ」と教えてくれたり、自分出来るようになった経験をりんご組さんに教えてくれます。

うんていの取り組みも日々積み重ねています。うんていは「昨日は3個まで行ったから今日は4個まで」「昨日は全部渡れたから今日も全部渡る!」「明日プールの前にしよう」と自分たちで目標を定め日々取り組んでいます。昨日、今日、明日と取り組む姿に心の成長を感じています。

### ○造形 ～七夕製作～



七夕製作では、折り紙で彦星様と折り姫様を作りました。毎月折り紙をする中で、端と端、角と角をそろえて折る事も自分たちでしっかり意識して折れるようになってきました。分からない時には、傍にいるお友だちに「ここからどうするの?」「分からなくなった」ち聞き、教えてあげる子は「ここは広げてから折るんだよ」「こっちは真ん中に合わせてね」と子ども同士で具体的に教え合う姿が見られてきました。何といっても子どもたちが喜んだのが、ペンで顔をえがくことです。目や鼻や黒でえがき、口や頬は赤やピンクで可愛らしく描いてくれました。とっても素敵な彦星様と折り姫様が出来上がりました。

天の川は、画用紙をハサミでらせん状に切り表現しました。グルグル丸の線をしっかり見て、慎重に切る姿が印象的で、切り終わると「ホッ」とため息をつく子、「やった出来たー」と切り終えた紙を持ち、眺める子、それぞれに出来た喜びをかみしめていたようでした。一生懸命作った天の川には、シールと星をはり、



笹の葉に願いを込めて飾りました。それぞれの願いが叶うといいですね。

### ～うちわ作り～



夏祭りに向けてのうちわ作りでは、「みんな夏祭りに向けてうちわを作ってみよう!」と投げかけると、「あーもうすぐ夏祭りだ」「あと何回寝たら夏祭りだろう」「あー夏祭り早く来ないかな」「夏祭り楽しみ!」とやる気満々で

した。

どんなうちわにするか、皆で話し合いをしました。「先生Tシャツのうちわにしたらいいいんじゃない」「うん可愛いよね」「いいね」ということで、表はりんぶTシャツのうちわになりました。裏は何にしようかとなると、夏野菜を植えている事を思い出し「あーきゅうりのうちわは?」「赤いトマトもいいね」「赤い…あースイカは!」「スイカいいね」「すいかにしよう」「スイカ早く食べたいし」という事でスイカうちわに決定しました。

まずはうちわの土台塗り、ここでも話し合いをしました。Tシャツに合う色だよ…何がいいかな…と考えていると「紫は?」「紫はTシャツの色だよ」「あーそっか」「えーっと、あーピンクは?」「りんごさんのTシャツの色と似てるよ」「うーん、じゃあ緑は?」「緑! あーそれいいかも」「でもスイカも緑がある」なかなか決まらず、保育士が「もっと他の色があつたらいいのにね、Tシャツをお洗濯で干したようにぶら下げたらいいかなと思ったんだけど…」という、と「あー空の色」「水色は?」「おひさまもあつたらいいね」「いいね」と話しはどんどん盛り上がり、水色を塗る事に決定しました。うちわをしっかりと見ながら水色の絵具で塗る時は、とても静かに真剣に塗っていました。

Tシャツは、和紙をTシャツの形に切り、絞り染めをして作りました。染めた後に広げると「キレイ」「Tシャツみたいになった」「可愛い～」と思わず笑顔がこぼれていました。

スイカは、画用紙に思い思いの種をクレヨンで描きました。小さい種大から大きい種まで、味のあるおいしいそうなスイカが出来上がりました。出来上がったうちわを見て、「かわいいね」「スイカ食べる～」と大喜び、「先生、いつうちわ持って帰るの?」「夏祭りの時?」と益々夏祭りが楽しみになっていった子どもたちでした。

## ○音楽 ～タイヤ発表に向けて～



太鼓に向けて、いまタイヤたたきをしています。夏祭りを終えて保育士が太鼓をたたく姿に「運動会で太鼓を叩きたい」「先生たちみたいにかっこよく叩きたい」という意識が高まってきました。子どもたちは、バチの持ち方、構え方、叩き方を毎回練習しています。

7月は「かえるのうた」に合わせて叩いてきました。リズムを叩くことも大事ですが、「みんなで音(心)を一つにする」ということも大切にしています。そして、これまで練習してきた姿を8月中旬ごろに弟妹達に発表します！発表を終えたらよいよ太鼓に移行していきます。この様子はまた次月お伝えいたします。

## ～まつぼっくりさん、お泊り楽しんでね！～



夏野菜を植える時に「小さい子たちにも食べさせたい」と言っていた子どもたち。まつぼっくりさんのお泊り保育があるということで、野菜をプレゼントすることにしました。まつぼっくりさんのお泊りの前の日に、『まつぼっくりさんお泊り楽しんでね』の会を開きました。まつぼっくりさんを呼び「りんごさんとぶどうさんが畑で育てた夏野菜です。これでカレーを作ってね」

「お泊り楽しんでね」といいながら、まつぼっくりさんに野菜をあげていました。まつぼっくりさんから「ありがとう」と言われるとにっこり照れながら嬉しそうにしていた子ども達の笑顔がとても可愛かったです。

この日の会食では「私たちもお泊りしたの」「温泉とか楽しかったよ」「夏野菜カレーおいしかったよ」「お泊り楽しいよ」と楽しかった事を語りながら食事をし、勇気を分けてあげていた子どもたちです。そんな姿も素敵でした。

## ○あつまって たのしんで かんじて あったか夏祭り



皆が楽しめる夏祭りをやりたい！そんな思いで夏祭り見に向けて、全クラスホールに集まり、盆踊りを踊ったり、歌を歌って気持ちを高めてきた子どもたちです。ご家庭でも夏祭りで踊る盆踊りの歌を歌っていた事、踊っている様子などを聞き、子どもたちが夏祭りを心

待ちにしている事を感じ、私たちも嬉しく思いました。

夏祭り当日は、皆さん親睦を深めながら食事が出来たのではないかと思います。おいしそうにほおぼる子どもたちの笑顔が可愛らしかったです。オープニングの保育士による龍神太鼓では、りんご組ぶどう組さんの目がキラキラ輝いていました。保育士が叩く様子を見て、叩く真似をしたり、真剣に見ている姿に憧れの心を抱いている事を感じ、嬉しく思いました。

おみこしを担ぐ子どもたちの嬉しそうな表情、盛り上げて下さるお父さん、お母さんの姿に一体感を感じました。「レモンの種」のタングラムシアターも皆さん興味深くみて頂けたように思います。会場から「かわいい」と歓声が上がります。



1つの形が変化していく不思議さを感じられたと思います。

何より盛り上がったのは、盆踊りです。子どもたちも保護者の方々と一緒に踊ることが何よりも楽しみでしたので、元気と笑顔があふれていました。最後になりますが、子どもたちが楽しい思い出となるように、一生懸命に準備・片づけをして頂いた保護者の皆様、本当にありがとうございました。



## ○描画

### 吉永こうたくん(ぶどう組) テーマ：夏海で泳いだよ



「イルカジャンプしたのが1番面白かった。高く飛んだ。海で泳いだの楽しかった。先生たちが僕たちを引っ張って競争したのも面白かった。園長先生凄かった。僕たちが1番だったから嬉しかった。貝殻もたくさんあったからいっぱい拾った。白とか黄色とかあった。かき氷も冷たくておいしかった。あーまた海に行きたい！」

### 篠田るかさん(りんご組) テーマ：夏海で泳いだよ



「皆で繋がって遊んだ。足が付かなかった。でも勝手に動いていったから楽しかった。海の水なめたら塩辛くておいしかった。貝殻拾いできていなな見つけたよ。白とかピンクとかあって丸い形と四角い形三角のもあった。うずまきみたいなもの見つけたよ。またぶどうさんになったら行けるから楽しみ。」

### 藤本ゆうなさん(ぶどう組) テーマ：夏祭り



「先生達の太鼓すごかった！手を上げるところとか、みんなでそろってかっこ良かった。お母さんもすごいねって言ってた。みんなでおみこし担ぐの楽しかった。かき氷、オレンジ味を食べた。おいしかった。夏祭り本当に楽しかった。」

### 古閑みうさん(りんご組) テーマ：夏祭り

「夏祭り、楽しかった。先生達の太鼓、かっこ良かった。お父さんとお母さんと一緒に踊ったのが楽しかった。おみこしワッショイって言って楽しかった。また夏祭りしたい。」

